

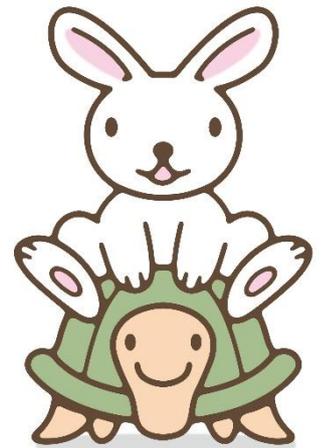
休眠預金活動事業「りぼら」は、がんサバイバーのための仕事のリハビリプログラムです。この「りぼら」をスタートさせるにあたって、昨年（2020年）夏にロゴとキャラクターの原案を募集しました。そして選ばれた入選作品を元にデザイナーの望月ミサさんにより生み出されたのが、このロゴとキャラクターです。3回にわたって、その入選作品を生み出した方々のストーリーをお届けしています。

第2話は、「キャラクターデザイン」の誕生秘話になります。

第2話【キャラクターデザイン】ユーカリさんのストーリー

JCDA：ユーカリさんは、2020年8月に開催された「りぼらロゴ&キャラクター募集 ワークショップ」の参加者として、このキャラクターの原案を描いてくださいました。入選に際して、こんなメッセージを寄せてくださっています。

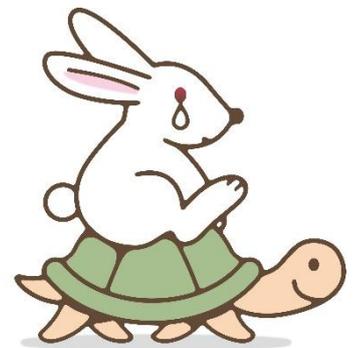
ユーカリさん：驚きましたが、嬉しかったです。気軽な気持ちで作ったキャラクターですが、治療を受けているご本人のみならず、病院でサポートしてくれる人達、ご家族やご友人、職場の同僚など、周りの皆様もが和めるような雰囲気になったらいいなという願いをこめて、「せっかちなうさぎ」と「のんびりしたカメ」が協力して治療を乗り切るという場面にしてみました。



JCDA：このワークショップの様子を、ユーカリさんと同じグループで参加されていたMさんが教えてくださいました。

Mさん：ユーカリさんを含むチームメンバー4人でアイデアを膨らませるワークをやりました。その後、デザインを描く時間では、全員がほぼ無言で集中して描きました。予定時刻の終わりが迫ってきたので、各自の作品をスクリーンに投影した時、「薄くなっちゃったけど見えますかぁ」と明るい声でユーカリさんは少し照れながらカメのうえに乗っているうさぎの絵を披露され、こんなことをおっしゃっていたと記憶しています。

ユーカリさん：患者になると沢山のものを抱える気持ちになります。治療を受けるのは自分だけど、家族や、友達、病院のスタッフ、会社の同僚、みんながいてくれる。一人じゃない！って思える日もあるけど、独りっきりだと思いう日もある。笑って頑張れる日ばかりじゃない。せっかちなうさぎとのんびりしたカメが協力して治療を乗り切るというイメージで描きました。



Mさん：ユーカリさんの描いたうさぎとカメが、りぼらのキャラクターに決まったと聞き、キャラクターができたその瞬間に同じチームで一緒にできたことがとても嬉しかったです。■